

一般社団法人日本小児血液・がん学会
2017年度臨時社員総会議事録

1. 日 時：2017年11月10日（金） 8時00分から9時30分まで
2. 場 所：ひめぎんホール サブホール 第2会場
3. 出席者：社員（評議員）総数 297名 この議決権数 297個
出席社員（評議員） 263名（委任状を含む） この議決権数 263個
4. 議 長：檜山英三
5. 定足数

以上のとおり定足数に達したので、定款の規定により理事長檜山英三は議長席に着き、開会を宣した。まず逝去された会員へ黙祷をささげた後、第59回学術集会石井榮一会長より学術集会開催に関する挨拶がなされ、その後、議事に入った。

第1号議案 議事録署名人の選任の件

議長は、議事録署名人について、本日出席の佐藤雄也評議員と富澤大輔評議員の2名を指名し、その承認を全員に諮ったところ、異議なく承認された。

第2号議案 専門医制度規則改正の件

議長は、専門医制度委員会井上雅美委員長に報告を依頼し、井上委員長より専門医制度規則の付則に以下の規則を追記する改正案が示され、その承認を全員に諮ったところ、全員異議なく承認された。

専門医制度規則 付則

21. 2022年度より緩和ケア研修会（CLIC）受講歴を小児血液・がん専門医認定申請および資格更新のための必須要件とする

（報告事項）

1. 学術・調査委員会報告

議長は、学術・調査委員会堀部敬三委員長に報告を依頼し、堀部委員長より以下の報告がなされた。

- ・個人情報保護法改正、人を対象とした医学系研究に関する倫理指針の改定に伴い、本会疾患登録事業の自己点検を行った。
- ・疾患登録集計報告について、本会雑誌第54巻第5号に掲載を予定している。
- ・疾患登録集計は、次年度より単年度集計となる。
- ・血液腫瘍の生存解析結果について、*International Journal of Hematology* に投稿を予定している。
- ・固形腫瘍の新規登録システム構築を、合同ワーキンググループ（日本小児外科学会悪性腫瘍登録、脳腫瘍全国集計、骨軟部腫瘍登録、網膜芽細胞腫登録、小児がん全国登録）にて検討している。次年度よりシステムの稼働を予定している。
- ・固形腫瘍登録に血液腫瘍登録が紛れていたため、登録間違いのないよう周知がなされた。
- ・海外居住者の疾患登録については、集計報告からは除いていることが報告された。
- ・腫瘍性疾患については、一次腫瘍の項目にて登録するよう周知がなされた。

・疾患委員会小委員会（血小板委員会、止血・血栓委員会、組織球症委員会、再生不良性貧血・MDS委員会、造血細胞移植委員会、白血病・リンパ腫委員会）委員選考が実施され、17名の新委員が選任された。

2. 庶務報告の件

議長は、庶務・財務委員会真部 淳委員長に報告を依頼し、真部委員長より庶務報告がなされた。

3. 平成 29 年度上半期事業報告

各委員会委員長より、委員会活動状況について、資料をもとに、以下の報告がなされた。

<利益相反委員会>

- ・役員・委員・学術集会発表者の利益相反申告管理を行った。
- ・日本医学会の COI 管理ガイドラインに沿い、本会の指針改定を進めている。
- ・利益相反に関する Q&A を作成し、本会ホームページへの掲載を予定している。

<規約委員会>

- ・理事、理事長選挙について定款・定款施行細則との整合性を諮り、修正した。

<評議員等資格審査委員会>

- ・新規評議員申請者を審査し、20 名を適格と判定した。
- ・評議員資格喪失に関する審査を実施した。

<倫理委員会>

- ・学術集会発表内容に関する倫理的問題対応を検討した。

<学術集会プログラム委員会>

- ・第 59 回学術集会プログラムの構成を検討した。
- ・第 59 回学術集会英文抄録を *Pediatric Blood and Cancer* に掲載した。

<学会誌編集委員会>

- ・学会誌発行状況が報告された。投稿規程を改正した。
- ・学会誌の **Medical Online** 収載について、検討し、実施した。

<診療ガイドライン委員会>

- ・小児白血病・リンパ腫診療ガイドライン及び小児がん診療ガイドラインを、本会ホームページにて公開した。

<学会賞等研究審査委員会>

- ・第 7 回日本小児血液・がん学会学術賞受賞者及び平成 29 年度大谷賞受賞論文が報告された。

<研究審査委員会>

- ・研究審査委員会審査状況が報告された。

<疾患委員会>

- ・各疾患小委員会活動状況が報告された。

<看護委員会>

- ・第 59 回学術集会における看護委員会のセッションを企画した。
- ・看護師の教育ニーズを明らかにするための調査を計画している。

<教育・研修委員会>

- ・緩和ケア研修会（CLIC）開催検討のため、委員を増員した。

- ・次年度の教育セミナー予定が報告された。

<専門医制度委員会>

- ・各種認定状況が報告された。
- ・第4回小児血液・がん専門医試験を実施した。

<社会・広報委員会>

- ・本会ホームページにおける未整備箇所の整備を進めている。

<保険診療委員会>

- ・平成30年度診療報酬改訂に向けた提案書を提出した。
- ・「医療上必要性が高い未承認薬・適応外薬検討会議」へ要望書を提出した。
- ・再発及び難治性ユーイング肉腫ファミリー腫瘍に対するテモゾロミドの使用実態調査（対象：JCCG参加施設）を計画している。
- ・NUDT15 遺伝子多型検査試薬の早期承認および保険適用について、厚生労働省へ、日本血液学会と共同で要望書を提出する。

<国際委員会>

- ・第59回学術集会アジア交流セッションの招聘者4名を選定した。
- ・第59回学術集会日韓ジョイントシンポジウムの招聘者2名を選定した。
- ・KSPHOから第59回学術集会への一般応募があり、3名が採択された。
- ・Korean Society of Pediatrics Annual Meetingでのジョイントシンポジウム演者2名を選定した。
- ・フィラデルフィア小児病院リサーチフェロー助成について会員へ広報した。

<学会あり方委員会>

- ・ゲノム医療推進ワーキンググループを立ち上げ、他学会とも連携し、各種検討を進めている。

<長期フォローアップ・移行期医療委員会>

- ・第1回小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会を開催した。
- ・第2回研修会は、2018年2月24日～25日に、大阪での開催を予定している。

4. 平成29年度上半期収支決算報告

議長は、庶務・財務委員会真部 淳委員長に報告を依頼し、真部委員長より平成29年度上半期収支決算書類が示され、各項目について説明がなされた。

5. 第62回日本小児血液・がん学会学術集会会長選任結果の件

議長より、理事会における審議の結果、菊田 敦理事が第62回日本小児血液・がん学会学術集会会長に選定されたことが報告された。菊田理事より就任の挨拶がなされた。

2020年11月後半の開催を計画している。

6. 第60回日本小児血液・がん学会学術集会準備状況報告の件

議長は、細井 創次期会長に報告を依頼し、細井次期会長より第60回日本小児血液・がん学会学術集会の準備状況について以下の報告がなされた。

- ・会期：2018年11月14日（水）～16日（金）
- ・会場：ロームシアター京都及び京都市勧業館みやこめっせ（京都市左京区）
- ・テーマ：Children First 難病の子どもたちが教えてくれる未来の医療、未来の社会

- ・ SIOP 2018 in Kyoto と連携して開催する。

7. 第61回日本小児血液・がん学会学術集会準備状況報告の件

議長より、第61回日本小児血液・がん学会学術集会の準備状況について以下の報告がなされた。

- ・会期：2019年11月14日（木）～16日（土）
- ・会場：広島コンベンションホール及び広島県医師会館

8. 役員選挙について

議長より、理事・監事・理事長選挙実施予定について報告がなされた。

9. 小児ドナー登録について

造血細胞移植委員長橋井佳子評議員より、以下の報告がなされた。

- ・造血細胞移植学会で実施している小児ドナー登録について周知がなされた。
- ・血縁造血幹細胞ドナー登録センターの体制を EP クルーズ株式会社から日本造血細胞移植データセンターへ、2018年3月1日より移管することとなった。

議長は、以上をもって一般社団法人 日本小児血液・がん学会の臨時社員総会に関するすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。